

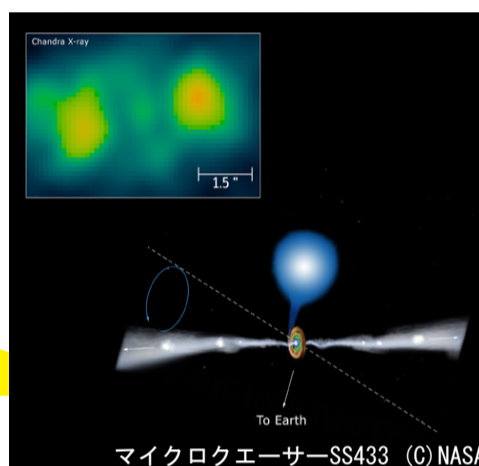
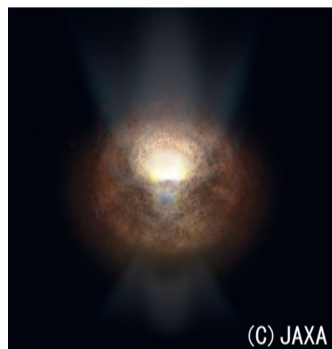
宇宙物理学教室 恒星グループ

上田 佳宏 准教授 [ueda@kusastro.kyoto-u.ac.jp]
 野上 大作 助教 [nogami@kwasan.kyoto-u.ac.jp]
 加藤 太一 助教 [tkato@kusastro.koyot-u.ac.jp]

X線グループでは、**マイクロエーサー**や**活動銀河核**などの高エネルギー天体を対象に研究を行っています。また、全天X線監視装置(MAXI)の計画にも携わり、宇宙で起こる様々な活動現象について探っていきます。

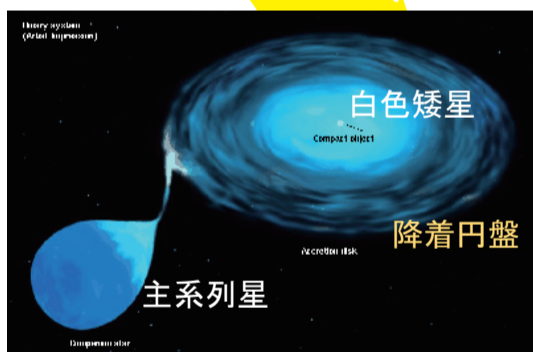
X線

宇宙には可視光などでは検出できない分厚い**トーラス**を持つ活動銀河核が多数存在することが示唆されている。我々はSwiftと「すざく」のデータを用い、こうした活動銀河核を昨年発見することに成功した。



マイクロエーサーは**ジェット**を持つ高密度星と普通の星からなる連星系である。この天体を詳細に観測することで、宇宙で最も高エネルギーな現象の一つである宇宙ジェットの生成メカニズムに迫ることができる。

変動って
楽しい！！

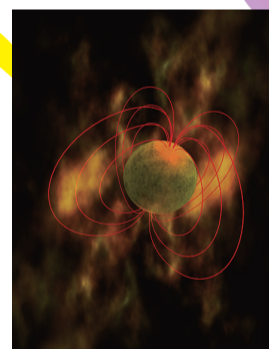


激変星の模式図。主系列星から流れてきた質量が白色矮星の周りに**降着円盤**を形成する。降着円盤からは様々な変動が観測されている。

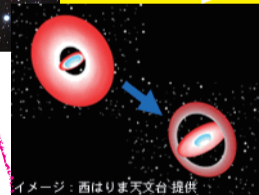
可視光グループは**激変星**を主とする変光星を観測し、その物理に迫ろうとしています。観測は4号館の屋上40cm望遠鏡が活躍しています。

また、**Be星**と呼ばれる星に関して理論と観測から、星からの輻射の謎や円盤の謎を解明しようと研究を進めています。

可視光



マグネターという強い磁場を持つ天体からのフレア(爆発)をシミュレーションする。



Be星は**星の周りに円盤**を持ち、円盤は消失・形成をされると考えられている。

オープンラボ (11:00 - 15:55)

[場所] 4号館各所

1. ポスターによる研究紹介 (随時)
2. 教員によるミニ講演会
 午前の部 11:00 - 12:40
 午後の部 13:30 - 15:10
3. 院生による相談会